



西新井 消防団だより

発行 令和8年3月 No.109W

編集・発行

西新井消防団 広報委員会

半世紀の歩みを振り返る 西新井消防団発団50周年記念式典



元井団長が敬礼し、式典が厳粛に進行する会場の様子

1月11日、西新井消防団は、発団50周年記念式典ならびに令和8年度始式を開催しました。会場には、関係機関や地域代表者など多くのご来賓が参列し、厳粛かつ盛大に執り行われました。

記念式典では、半世紀にわたり地域防災を支えてきた消防団の歩みを振り返るとともに西新井消防団に対し、「消防総監功労賞」「東京都消防協会長功労賞」が授与されました。これまでの活動と功績を改めて共有し、先人たちの努力と伝統を受け継いでいく決意を新たにす式典となりました。

始式では、消防団員信条に加え、昨年度に顕著な活躍をした団員および分団に対する表彰が行われました。表彰を受けた団員・分団に対しては、会場から大きな拍手が送られ、日頃の献身的な活動が称えられました。

また、新入団員の紹介も行われ、新たに地域防災を担う仲間として団員一人ひとりが紹介されました。緊張感の中にも力強い敬礼を見せる姿に、会場からは温かい視線が注がれ、消防団の未来を支える新たな力への期待が感じられました。

団員一人ひとりが新たな一年の無火災・無災害を願い、地域防災の最前線を担う使命と責任を改めて確認する、意義深い一日となりました。西新井消防団は今後も、地域に寄り添い、安全・安心なまちづくりに尽力してまいります。



西新井消防団として消防総監功労賞を拝受



最優秀分団を受賞した8分団

西新井消防団



団長が敬礼で見守る中、団旗・分団旗が堂々と入場



式典の冒頭では、消防団の象徴である団旗および分団旗の入場が行われました。旗手を先頭に、団員が整然とした隊列で行進し、堂々と入場しました。

統制の取れた動作と力強い敬礼からは、消防団としての規律と結束、そして地域防災を担う誇りが感じられ、会場の参列者も真剣な眼差しで見守りました。

開式に続き国歌斉唱・消防団員信条が行われました。会場に集まった来賓・関係者、消防団員一同が起立し、厳粛な雰囲気の中で国家を斉唱しました。

消防団員信条とは？

消防団員信条とは、非常勤の地方公務員として消防団活動を行う消防団員が、その責務の重要性を認識し、日々の活動や災害現場において行動の指針とする精神・心得のことです。一般に、消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき活動しており、この信条は団員の誇りや規律を支える柱となっています。



国歌斉唱の様子



真剣な面持ちで西新井消防団信条を読み上げる団員



会場となった伊興小学校体育館に整列する団員たち



新入団員紹介・宣誓 消防団員としての決意新たに

新入団員代表者による宣誓では、地域の安全を守る消防団員としての自覚と責任を胸に、力強く決意が述べられました。

消防団活動を担う新たな仲間を迎えたことは、団にとって大きな力となるとともに、地域防災のさらなる充実につながります。



消防団員としての決意を表明



団長へ向かって敬礼する新入団員

求む！消防団員



西新井消防署 03-3853-0119

入団資格

- ・ 18歳以上の健康な方
- ・ 23区内に居住・勤務・通学している方

入団は
QRコード
からも👉



西新井消防団

将来の夢を胸に、地域防災の一員へ



真剣な面持ちで始式に臨む
嬉賀団員

今年度、新たに西新井消防団7分団へ入団した嬉賀眞人団員に、入団のきっかけや今後の抱負について話を聞きました。

Q. 入団したきっかけを教えてください。

将来、消防士になることが夢で、大学生のうち何かできることはないかと考えていました。そんな中で消防団の存在を知り、地域に貢献しながら経験を積めると思い、入団を決めました。

Q. 始式に参加した感想を教えてください。

とても圧巻されました。式典を通して、消防団の歴史や地域防災を担う責任の重さを強く感じました。

Q. 今後、消防団で挑戦してみたいことはありますか。

操法大会への出場に挑戦してみたいです。また、地域の方々との交流を深め、顔の見える関係を築いていきたいと思っています。

Q. 入団を迷っている方へ、一言お願いします。

自分の住んでいる地域を自分たちで守ることができ、さまざまな人のつながりも生まれます。その経験は将来にも必ず活かせると思います。特に若い方には、ぜひ消防団に入団してほしいです。

家族の支えに感謝

始式にて家族表彰を受けた山本ご夫妻からお話を聞きました。

山本班長: 妻が普段から家庭を守り、支えてくれているおかげで、応急手当の普及活動をはじめ、消防団活動に取り組むことができ、心より感謝しております。この機会に気持ちを伝えられて良かったです。

奥様: 私自身も仕事をしておりますが、何かと主人に協力して貰っています。また、主人自身も地域の為に活動出来る事で皆さんとも繋がり生活にも張りが出ていると思います。ありがとうございました。



家族表彰を受けた山本班長ご夫妻

西新井消防署 開署 50 周年を祝う記念式典を開催



多くの来賓・関係者が参列

1月29日、西新井文化ホール（ギャラクシティ）において「西新井消防署開署50周年記念式典」が盛大に開催されました。会場には消防総監をはじめ関係団体・地域関係者が多数出席し、これまでの消防署の歩みを振り返るとともに、地域防災のさらなる充実に向けた節目の式典となりました。

式典では、来賓の方々をはじめ、多くの消防関係者が列席する中、厳粛な雰囲気のもと進行し、西新井消防署が地域とともに積み重ねてきた50年の歴史と功績が改めて紹介されました。

地域住民の安全・安心を守るため、日々尽力してきた消防職員・消防団員の活動が称えられ、出席者一同がその重みを共有する機会となりました。

第2部では、東京消防庁音楽隊およびカラーガーズ隊による演奏・演技披露が行われました。

迫力ある演奏と息の合った華やかな演技が会場を大いに盛り上げ、来場者からは大きな拍手が送られました。音楽と演技を通じて防火・防災への意識を高めるとともに、記念式典にふさわしい華やかなひとときとなりました。

また、会場では西新井消防署広報プロモーションビデオが上映され、消防署の役割や災害対応の現場、日頃の訓練の様子などが映像を通じて紹介されました。映像からは、迅速な出動体制や隊員一人ひとりの使命感が伝わり、来場者も真剣な表情で見入る姿が見られました。



プロモーションビデオの上映



東京消防庁音楽隊の演奏



カラーガーズ隊による演技披露



息の合った旗さばきと堂々とした動き

冬の三大行事「大晦日特別警戒」



参拝客で賑わう境内を巡回する第4分団

大晦日特別警戒は、西新井大師エリアを担当する第4分団にとって、冬の三大行事（大晦日特別警戒、文化財防火デー、節分ダルマ供養）のひとつに位置付けられる重要な活動です。

年末年始は参拝者が多く訪れ、境内や周辺が大変混雑することから、事故や火災等の発生を未然に防ぐため、毎年欠かさず警戒活動を実施しています。

警戒は大晦日から元日にかけて行われ、新年の鐘の音が鳴り続く深夜遅くまで続きます。寒さの厳しい時間帯ですが、団員は境内を巡回し、火気の取り扱い状況の確認や参拝者の安全確保に努めました。コロナ禍明け直後は混雑が比較的落ち着いていたものの、2026年は多くの参拝客が訪れ、境内の警戒に出ると人混みでなかなか前に進めない場面も見られました。そのような状況の中、西新井消防署や関係機関、地域の皆さまと連携を図りながら、参拝者が安心して年末年始詣を行えるよう、長時間にわたる警戒活動を実施しました。

西新井大師節分会「火の用心」呼びかけ



地域の安全を願いながら啓発活動



参拝者へ向けて福豆をまく元井団長

2月3日、西新井大師で開催された節分会において、西新井消防団は豆まき行事に参加するとともに、火災予防の呼びかけを実施しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの参拝者で境内が賑わう中、福豆をまきながら来場者と交流を深めました。節分会は地域の伝統行事として親しまれており、毎年多くの方が訪れることから、消防団にとっても地域とのつながりを感じられる貴重な機会となっています。

春先を迎えるこの時期も、朝晩の冷え込みによりストーブや電気ヒーターなど暖房器具を使用する機会があります。引き続き火の取り扱いには十分ご注意ください、皆さまのご家庭でも火災予防へのご協力をお願いいたします。



上級救命講習で実践力向上 いざという時に備えて

2月8日、上級救命講習が実施されました。本講習は消防庁主催の応急手当講習のひとつで、普通救命講習で学ぶ心肺蘇生法やAEDの使用法、気道異物除去法、止血法などの基礎内容を踏まえ、より高度で実践的な救命処置を学ぶものです。

講習では、成人への対応に加え、小児・乳児に対する救命処置についても学習し、幅広い年代への対応力を身につけました。さらに、外傷時の手当として包帯法や副子による固定法、熱傷（やけど）への処置、傷病者の観察と管理方法、搬送法など、災害や事故現場を想定した内容が追加され、実技を中心に講習が進められました。

当日は実技訓練に加えて筆記試験・実技試験も実施され、受講者は一つひとつの手技を丁寧に確認しながら真剣に取り組んでいました。試験に合格すると上級救命技能認定証（有効期間3年）が交付され、消防団活動に

においても重要な資格として位置付けられています。

いざという時に迅速かつ適切な応急手当を行えるよう、受講者全員が高い意識を持って学習し、救命に必要な知識と技術を改めて習得する貴重な機会となりました。



気道異物除去法の手順を学ぶ受講者



心肺蘇生法とAED使用法の実技訓練



西新井 消防団だより

Web版ではより多くの情報をご覧いただけます！スマホから右のQRを読み込んでください⇒

